

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-11C	12-072	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
A meta-analysis on alcohol drinking and the risk of Hodgkin lymphoma. 飲酒とホジキンリンパ腫のリスクに関するメタ解析		
<b>執筆者</b>		
Tramacere I, Pelucchi C, Bonifazi M, Bagnardi V, Rota M, Bellocco R, Scotti L, Islami F, Corrao G, Boffetta P, La Vecchia C, Negri E.		
<b>掲載誌</b>		
Eur J Cancer Prev. 2012 May;21(3):268-73.		
<b>キーワード</b>		
ホジキンリンパ腫、飲酒、メタ解析		
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> ホジキンリンパ腫のリスクにおける飲酒の関与は未だ明らかになっていない。本研究では飲酒とホジキンリンパ腫の間のリスクを評価検証する。</p> <p><b>方法：</b> これまでの発表論文をもとに8つの症例対象研究と2つのコホート研究におけるホジキンリンパ腫に関する合計 1,488 症例を対象にメタ解析を行った。因子間の相関を考慮した上でランダム効果モデルを用いたメタ分析推定値を導き出し、非線形ランダム効果メタ回帰モデルを用いることで飲酒量に対するホジキンリンパ腫のリスク分析を行った。</p> <p><b>結果：</b> 非飲酒者と比較して、飲酒者における相対リスクは全体に対しては 0.70 (95%信頼幅：0.60-0.81)であり、症例対象研究下では 0.66 (95% 信頼幅：0.56-0.78)、コホート研究では 0.92 (95%信頼幅：0.63-1.33)であった。非飲酒者と比較して、統合された相対リスクは軽度飲酒者(1日当たり1飲酒機会以下)において 0.71 (95%信頼幅：0.57-0.89)、中・重度飲酒者(1日当たり1飲酒機会超)において 0.73 (95% 信頼幅：0.60-0.87)であった。一方、飲酒量に対するホジキンリンパ腫のリスク比はエタノール 10g 飲酒者において 0.95 (95%信頼幅：0.89-1.02)、エタノール 20g 飲酒者において 0.87 (95%信頼幅：0.72-1.05)、エタノール 30g 飲酒者において 0.82 (95%信頼幅：0.64-1.04)であり、負の関連性を確認することができたが統計的に有意な結果ではなかった。</p> <p><b>結論：</b> 本研究におけるメタ分析はホジキンリンパ腫に対するアルコールの負の関連を示唆するが、飲酒量とのリスク関連性は確認できていない。この負の関連が確認されたのは症例対象研究に限られており、コホート研究よりも症例対象研究において負の関連が大きいという結果を得た。したがって、結果の解釈に注意を要する。</p>		